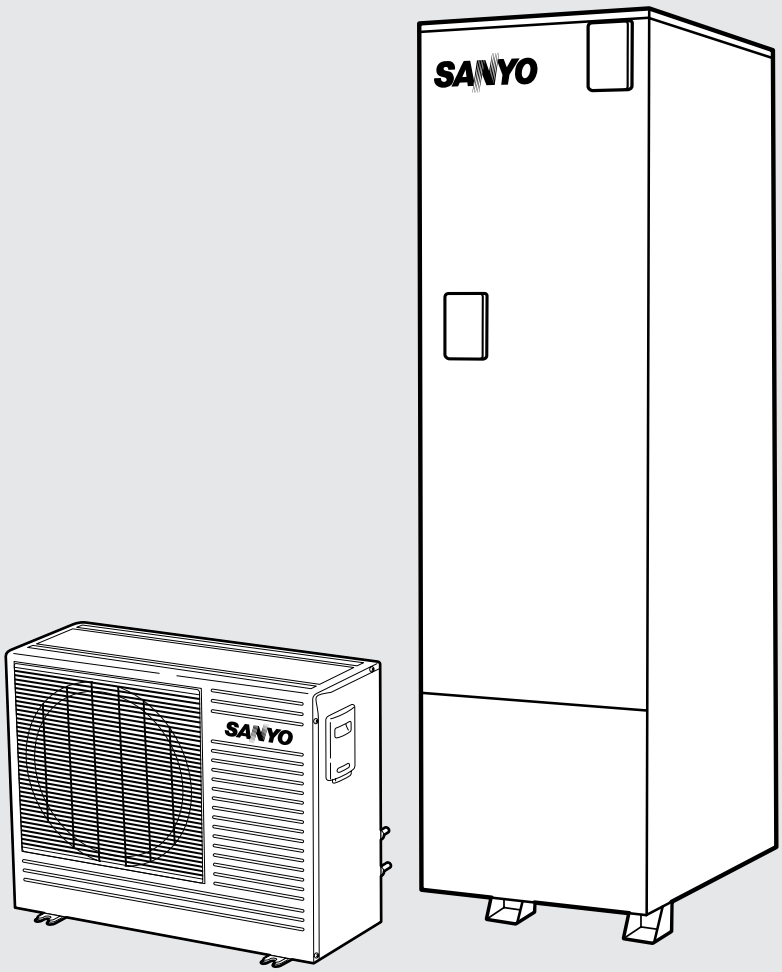
自然冷媒ヒートポンプ給湯機

SHP-TC46E-ST

貯湯タンクユニット
SHP-T46E-ST　台所リモコン RCS-HD46E-ST
ヒートポンプユニット
SHP-C60E

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、ご家族全員で安全に正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管し必要なときにお役立てください。



もくじ

ご使用の前に

ご使用の前の知識 ……1
安全のため必ずお守りください …2
各部のなまえ
　貯湯タンクユニット ……7
　ヒートポンプユニット ……7
　台所リモコン ……8
　リモコン表示部 ……9

使いかた

現在時刻の合わせかた……10
運転モード切替を行う……11
各運転モードの詳細……12
多量のお湯を使用したいとき……15
給湯温度を決める……16
節約のためのワンポイント……17
各設定の変更……18
（リモコン音量・操作音・音声案内）
数日間お湯を使用しないとき（運転休止） 19
長期間お湯を使用しないとき……20
凍結予防/定期点検 ……21

お手入れ・その他

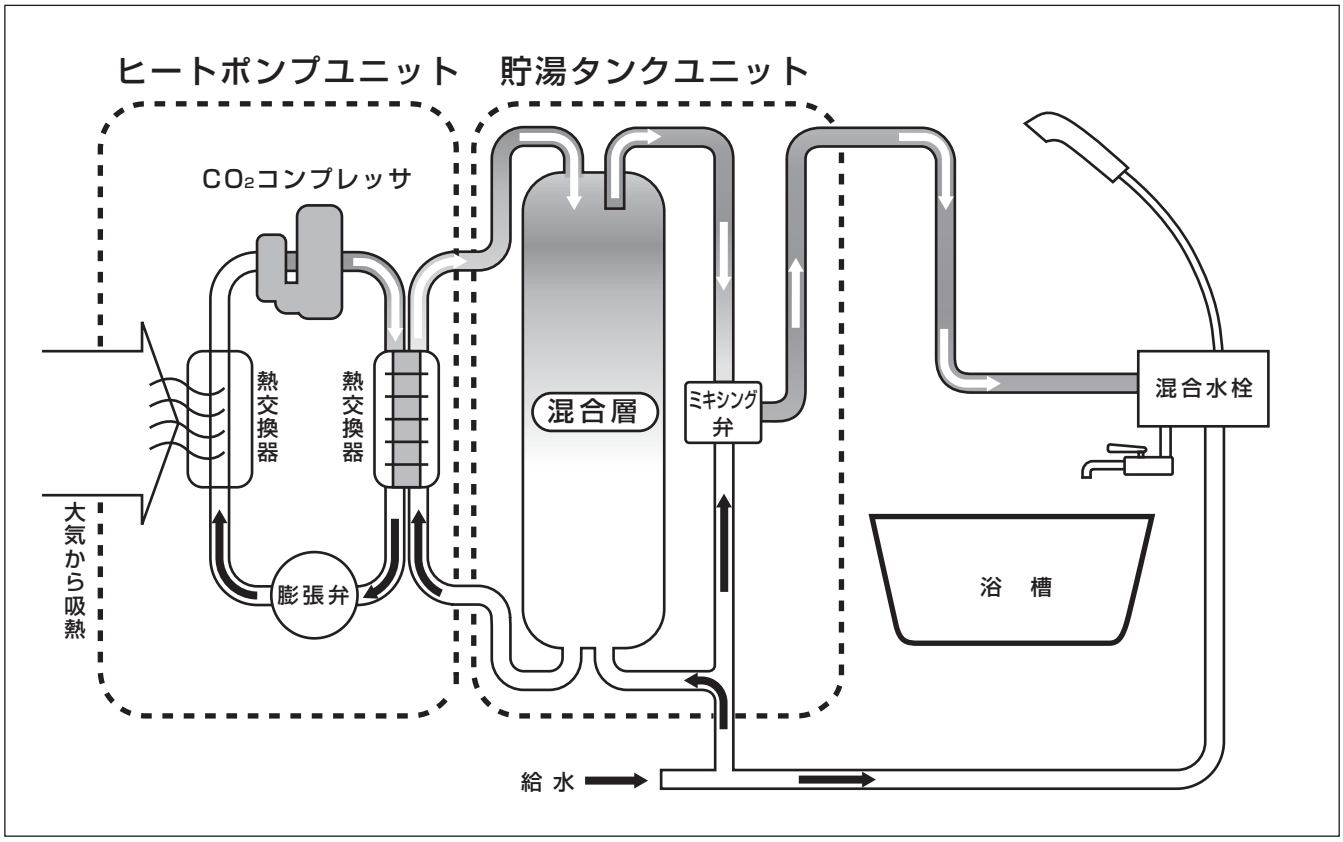
お手入れのしかた……22
知っておいていただきたいこと…23
契約電力制度について……24
停電・断水のとき・災害時のとき…25
故障かな？と思ったら
　修理を依頼される前に……26
　リモコンにエラー表示された場合 …27
　エラー表示がない場合……28
仕　様 ……29
アフターサービス……30

SAVE　省エネで　守る環境　豊かな暮らし

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

ご使用の前の知識

ヒートポンプ給湯機のしくみ



自然冷媒ヒートポンプ給湯機とは、ヒートポンプユニット内に封入された冷媒（CO_2)の働きを利用し、熱交換器で大気の熱を集め、お湯を沸かし、タンクユニットに貯湯し利用するシステムです。そのためタンク満たんまでの沸き上げに時間を要します。
また、冷媒には自然冷媒（CO_2）を使用し、地球環境に配慮したヒートポンプ給湯機です。

時間帯別電灯契約ができます

機器の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために電力会社と時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯契約をおすすめします。
契約方法は電力会社または販売店までご相談ください。

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 誤った扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

⚠注意 誤った扱いをしたときに、傷害や物的損害に結びつく可能性が大きいもの。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

⃠	「禁止」事項
❗	「実施」事項

	分解・修理・改造禁止
	接触禁止

⏚	アース線接続

⚠警 告

給湯時は湯水混合栓に手を触れない

やけど注意

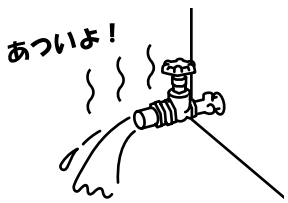
やけどをすることがあります。

使いはじめはやけどに注意する

やけど注意

特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

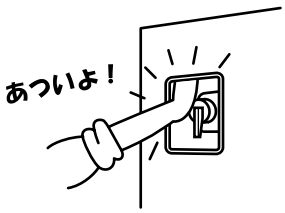
排水時はお湯に手を触れない



やけど注意

やけどをすることがあります。

逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない

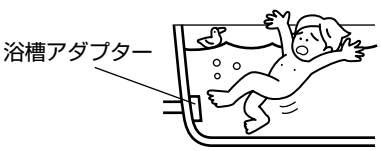


やけど注意

やけどをすることがあります。

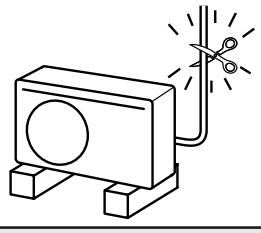
子供を浴槽内で遊ばせない また、浴槽アダプター付近に潜ったりしない

禁止



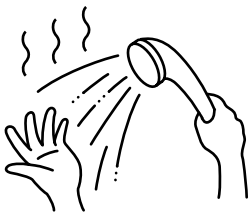
電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままで使用しない

禁止



シャワー使用時や入浴時は、湯温を指先等で確認する

確認



湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行う

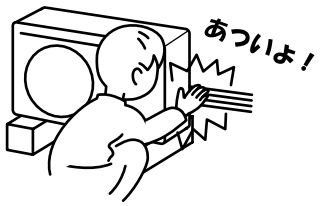
確認

やけどをすることがあります。
浴室でシャワーを使用しているときは、給湯温度の変更をしないでください。

安全のため必ずお守りください

⚠ 警告

ヒートポンプ配管に手を触れない



やけどをすることがあります。

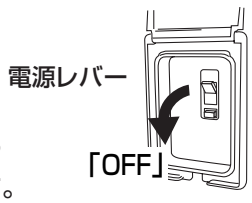
ヒートポンプユニットのフィンに触ったり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない

けがをすることがあります。

近くにガス類や引火物を置かない

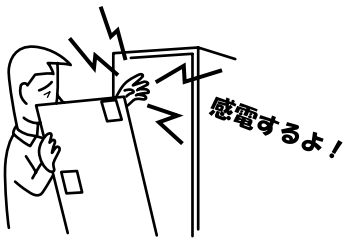
発火・火災になることがあります。

異常時は、漏電しゃ断器の電源レバーを下げて電源を「OFF」にし、お買い上げの販売店へ連絡する



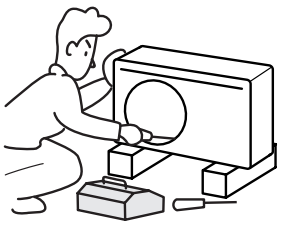
異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

前パネルを開けない



開けると、感電することがあります。

修理技術者以外の人は分解・修理をしない

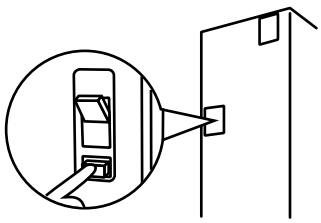


発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取付けは、据付工事店へお問合せください。

漏電しゃ断器の動作を確認する

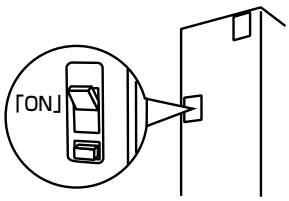


故障のまま使用すると、感電することがあります。

⚠ 注 意

凍結予防のため冬期は、漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にしない

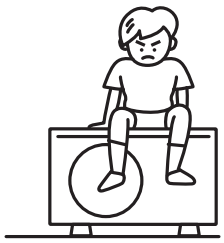
禁止



配管が凍結し、水漏れすることがあります。

機器に乗ったり、配管に力を加えたりしない

禁止



事故・やけどの原因になります。

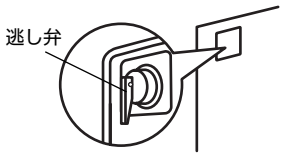
機器を満水にしてから電源を入れる

満水確認

機器に水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。

逃し弁の点検をする

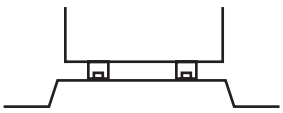
点検



点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

タンクユニットの脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

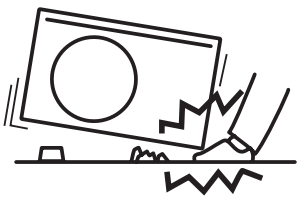
確認



固定されていないと、地震のとき、貯湯タンクユニットが倒れてけがをすることがあります。

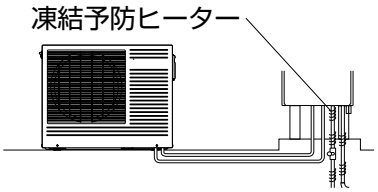
ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない

禁止



ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。

凍結予防対策の確認をする

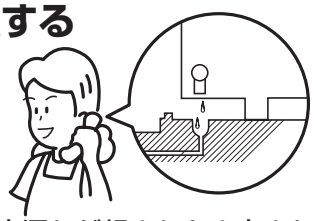


確認

凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する

確認



処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

貯湯タンクの熱湯を直接排水しない

禁止

やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

長期間使用しないときは、機器の排水をする

確認

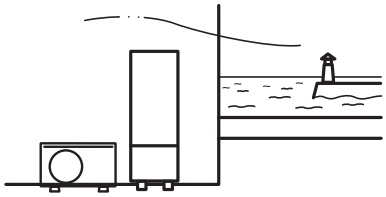
排水しないと水質が変化することがあります。

安全のため必ずお守りください

⚠ 注 意

塩害地には設置しない（耐塩害地仕様品は除く）

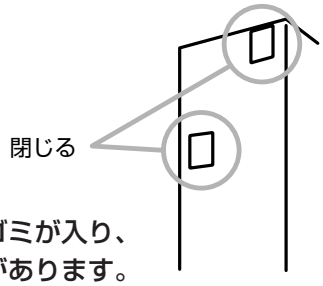
禁止



機器故障の原因になります。

操作カバー・操作窓は閉じる

確認



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

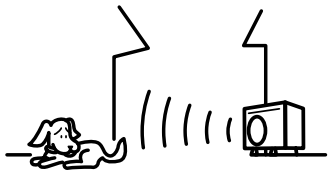
ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

禁止

通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。

設置は隣家に配慮した場所を選ぶ

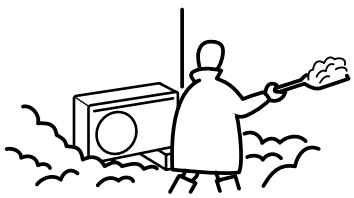
確認



運転音や振動が伝わりにくい場所、隣家の迷惑にならない場所をお選びください。

積雪時には除雪をする

点検



ヒートポンプユニットやタンクユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

停電復帰直後の1分間は、シャワー・給湯を使用しないでください。

禁止

熱いお湯が出る場合があります。

そのまま飲用しない

禁止

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、次の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
  （カルシウム分等が析出し、たい積して配管のツマリの原因になりますので、水質硬度は100mg/ℓ以下にしてください。）
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。

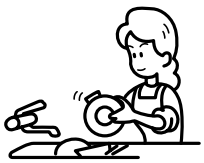
お　願　い

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

●髪を洗っているときは、シャワーを止めながら使用しましょう。

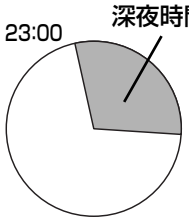
●洗いものをするときも止めながら



流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

深夜時間帯の入浴について

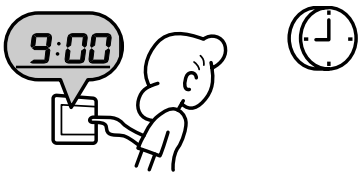
この給湯機は、おもに深夜時間帯でお湯を沸かしますので、深夜時間帯にお湯を使うと、昼間に沸き増し運転がズレ込み、電力消費量が増える場合があります。



（深夜時間帯は、電力会社により異なります。）

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。

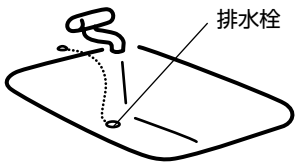


時刻がずれていると、タンク内を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

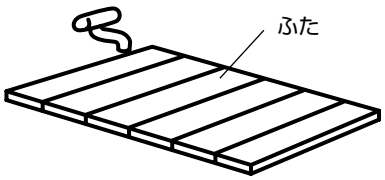
湯張りをするときのお願い

湯張りをするときは、次のことをご確認ください。

●浴槽の残水を排水して排水栓を閉じる



●浴槽のふたをする（保温効果を良くするため）



※浴槽や洗面台が青く変色したりすることがありますが、健康上問題はありません。

機器の設置状況などを確認する

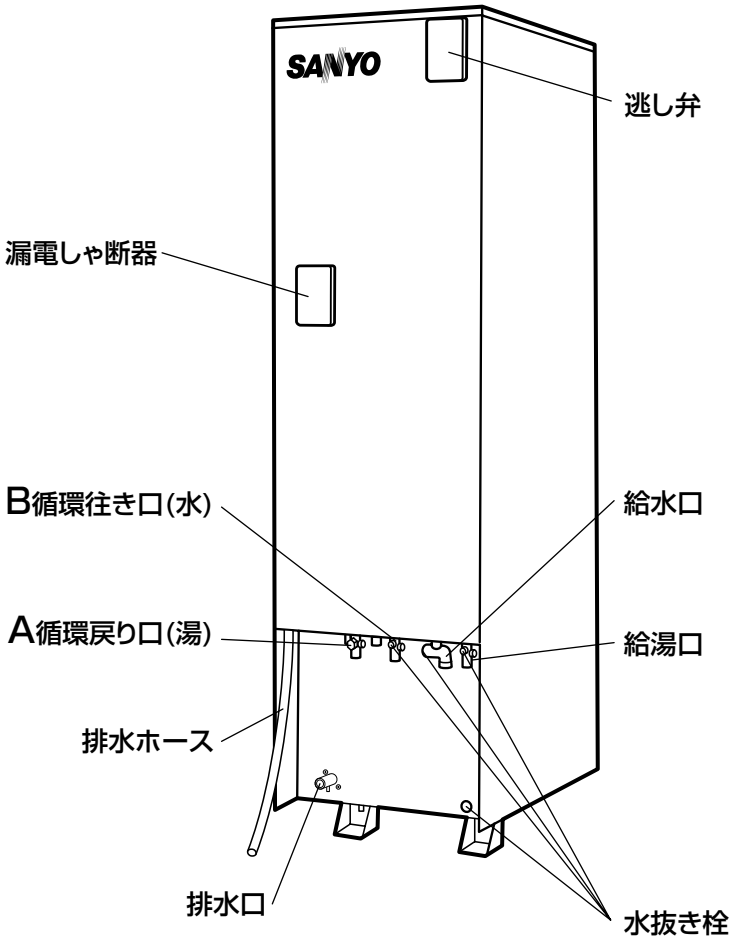
以下の場所に設置されている場合は、事故や故障の原因となり、機器の性能も保証できません。

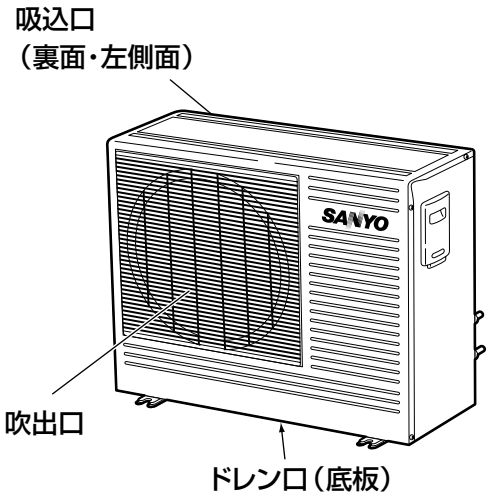
●最低気温が −10℃以下となる場所
●浴槽と同一屋内（タンクユニットのみ）
●屋内（ヒートポンプユニットのみ）
●水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
●階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
●冠水する場所
●ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所へは設置しないでください。
●ヒートポンプユニットの周辺には物を置かないでください。
能力低下や思わぬトラブルの原因になります。
特に冬期の積雪には、ご注意ください。
●給水圧が低い場合（200kPa以下）は、お湯の出が悪くなったり、お湯が出なくなることがあります。

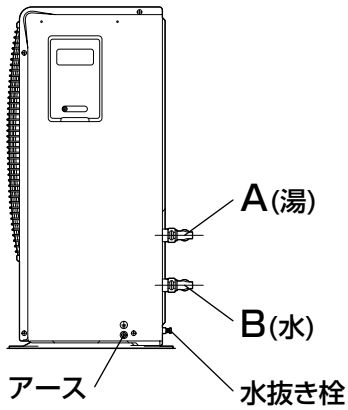
各部のなまえ

貯湯タンクユニット／ヒートポンプユニット

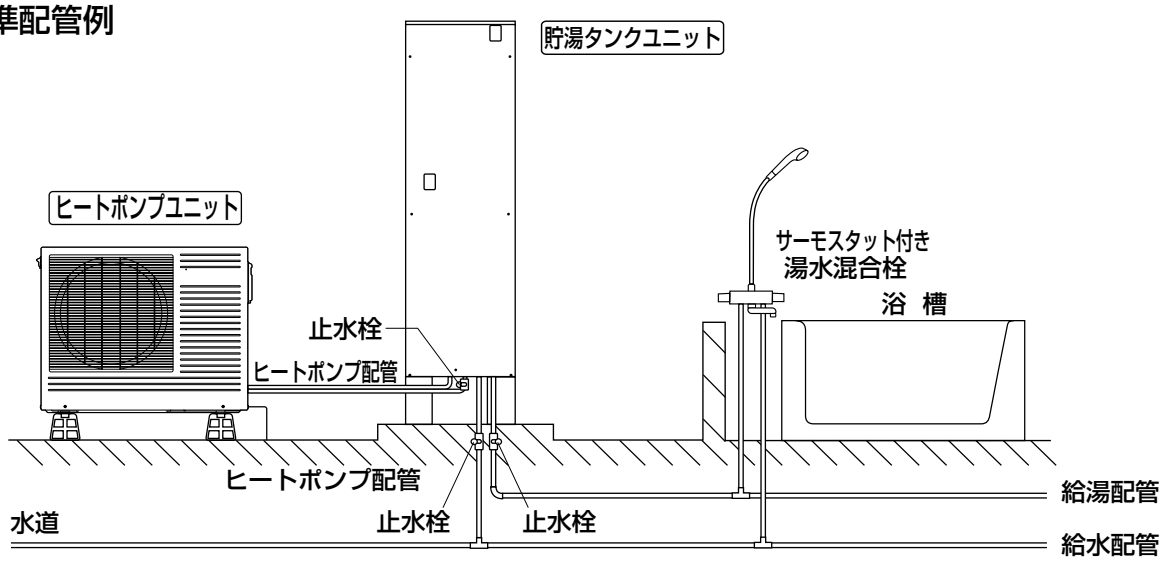
(SHP-T46E-ST)　　(SHP-C60E)







標準配管例



台所リモコン（RCS-HD46E-ST）

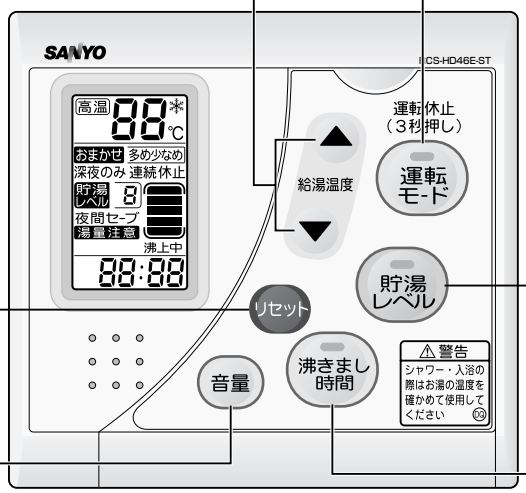
※ふたが閉まっている状態とふたが開いている状態で、スイッチが異なります。
※図は説明のためにすべて表示した状態です。

■ふたが閉まっている状態

給湯温度スイッチ
給湯温度やシャワー温度を設定します。
（16ページ）

リセットスイッチ
エラーが表示されたときに押すと、表示をクリアーできます。
（27ページ）

音量スイッチ
リモコンの音量、音声案内、操作音を変更します。
（18ページ）



運転モードスイッチ（運転モードランプ）
運転モードを、「おまかせ(多め･少なめ)」「深夜のみ」「マニュアル（液晶表示なし）」のいずれかに設定します。
3秒長押しで運転を休止します。
点灯…運転中
（11ページ）

貯湯レベルスイッチ（貯湯レベルランプ）
貯湯レベルの変更を行います。
点灯…貯湯レベルの変更が可能です。
（14ページ）

沸きまし時間スイッチ（沸きまし時間ランプ）
設定した時間の分だけ、沸き増しを行います。
点灯…沸き増し中
（15ページ）

■ふたが開いている状態

時計／休止日数スイッチ
現在時刻や休止日数の設定等を行います。
（10ページ）

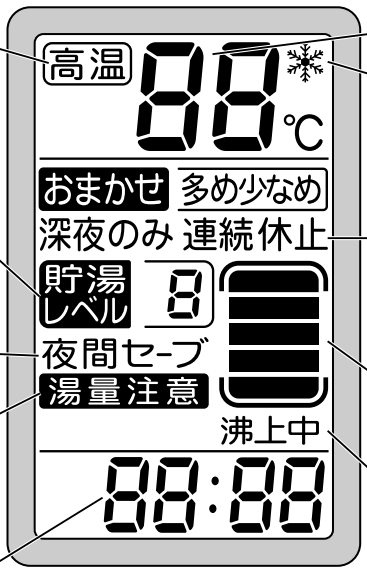
時計スイッチ
現在時刻を設定します。
（10ページ）

夜間セーブスイッチ（夜間セーブランプ）
深夜時間帯に騒音を低くして運転します。
（11ページ）

各部のなまえ（つづき）

台所リモコン表示部

図は説明のため全部表示した状態です。
（省エネのため、バックライトは操作後約60秒で消えますが、お湯を流したときや再び操作したときに、再度点灯します。）



高温　表示
給湯温度が60℃に設定されています。

貯湯レベル　表示
運転モードが「深夜のみ」、「マニュアル」に設定されているとき、貯湯レベルを表示します。

夜間セーブ　表示
夜間セーブを押したときに表示されます。

湯量注意　表示
タンク残湯量が50L以下になると表示されます。

時刻表示部
現在時刻およびエラー番号を表示します。

給湯温度　表示
給湯温度を表示します。

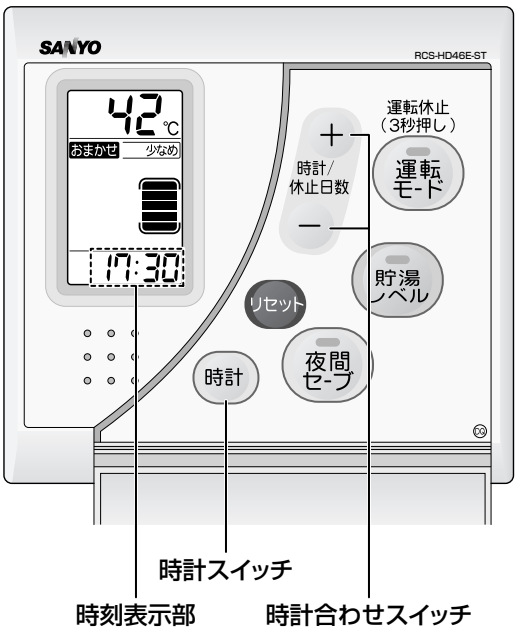
凍結予防　表示
凍結予防運転中。

運転モード切替　表示
おまかせ(多め･少なめ)、深夜のみ、マニュアル(液晶表示なし)のいずれかを表示。(休止の場合は、連続3秒押したときに表示されます)

タンク残湯　表示
タンク内の残湯量のめやすです。

沸上中　表示
お湯の沸き上げを行っているときに表示されます。

現在時刻の合わせかた



●時計は24時間表示になっています。

（例）17：30（午後5時30分）に合わせるとき

台所リモコンのふたを開いて

1 時計を約1秒押す

● 時刻表示が点滅します。

台所 *現在時刻が変更できます。*

2 ＋ 時計/休止日数 － で合わせる

＋を押すと時刻が進みます

－を押すと時刻が戻ります

● 押し続けると10分単位で連続して変わります。
● 下1ケタは1回ずつ押して合わせてください。

「＋」を押し続けたときの変わりかた

16：50
17：00
17：10
17：20
17：30

台所 *よければ時計スイッチを押して下さい。*

3 時計を押す

● 時刻表示が点滅から点灯になります。（セット完了）

台所 *変更しました。*

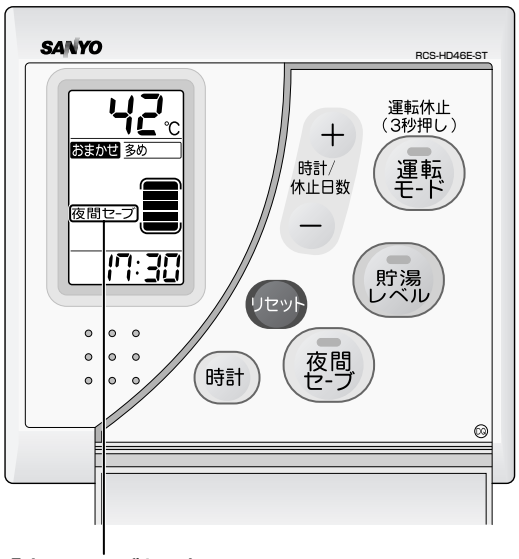
時刻合わせを行わない場合は「時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯」契約にあった運転を行いません。
また、夜間セーブ運転も行いません。必ず、時刻合わせを行ってください。
時刻を間違えて設定すると電気代が割高になりますので、ご注意ください。

メモ

● 電源ブレーカーを切ったり、停電した場合で復帰後、時刻表示が「－ －－」になっている場合は、現在時刻合わせをやりなおしてください。
● 現在時刻は、運転中でも停止中でも設定できます。

運転モード切替を行う

「おまかせ」「深夜のみ」「マニュアル」のいずれかを設定します。
通常は「おまかせ」の設定をおすすめします。



「夜間セーブ」を表示

台所リモコンのふたを開いて

1 運転モードを押す

● 1回押すごとに次のように切り替わります。

おまかせ → おまかせ 多め → おまかせ 少なめ → 深夜のみ → マニュアル運転（液晶表示なし） → おまかせ

● 運転モードが確定すると、音声でお知らせします。

（例）台所 「おまかせ運転に設定しました。」

必要に応じ、さらに

2 夜間セーブを押す

（例）台所 「夜間セーブを設定しました。」

「夜間セーブ」は深夜時間帯（例 23：00~7：00）のみ有効です。
（注）深夜時間帯は電力会社によって異なります。

■運転モード切替の内容と夜間セーブについて

運転モード	用途	沸き上げ	電力消費量
おまかせ	通常使用の場合	日々のお湯の使用量を学習して、ムダの少ない運転をします。	ムダに沸かすことなく効率的です。
おまかせ 多め	通常の「おまかせ」ではお湯の量が足りないと感じるとき。	通常の「おまかせ」よりお湯の沸き増しが多くなります。	通常の「おまかせ」より電力消費量は多くなります。
おまかせ 少なめ	通常の「おまかせ」ではお湯の量が多いと感じるとき。	通常の「おまかせ」よりお湯の沸き増しが少なくなります。	通常の「おまかせ」より電力消費量は少なくなります。
深夜のみ	お湯の使用量が少ない場合	昼間時間帯は沸き増しを行わないため湯切れの心配があります。	昼間はお湯を沸かさないので、電力消費量は最も少なくなります。
マニュアル	沸き増しを開始する湯量を手動で設定したい場合	マイコンによる学習は行わず、設定した湯量を下回ると沸き増しを開始します。	設定した湯量により、電力消費量が異なります。

● 上表運転モードに（夜間セーブ）が押されると、深夜時間帯のヒートポンプユニットの能力を下げ、運転音を低くします。
● 「夜間セーブ」は、30日経過すると自動的に解除されます。
● （沸きまし時間）を押すと、運転モードに関わらず、すぐにお湯の沸き増しをはじめます。（15ページ参照）

■タンク残湯表示とタンク内残湯量の目安

タンク残湯量表示						
	340L 以上	260~340L	180~260L	110~180L	50~110L	50L 以下
タンク残湯量	お湯の量が十分確保されています。	浴槽の湯張りとシャワーの両方を使用できます。	浴槽の湯張りは可能です。湯切れに気をつけてシャワーをお使いください。	シャワーは可能です。	お湯の量が少なくなっています。湯切れに注意してご使用ください。	**湯切れに注意。** 水になる場合があります。

タンク残湯量が50L以下になると、音声でお知らせします。

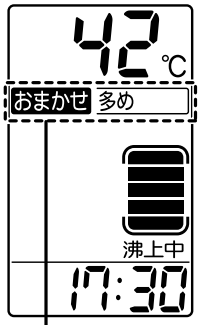
台所 「タンクのお湯が少なくなりました。」

メモ

● 夜間セーブ運転時は外気温度、水温、運転中の給湯使用により、深夜時間帯を超えて運転する場合があります。

各運転モードの詳細

「おまかせ」モードについて



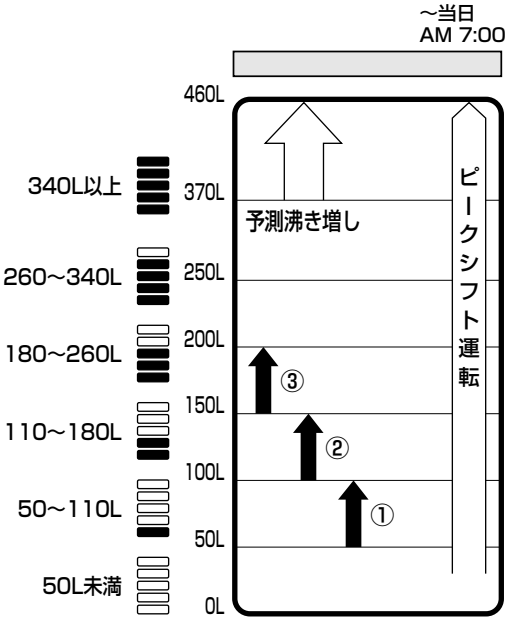
「おまかせ　多め」モード　表示

運転モード を押して「おまかせ」、または「おまかせ　多め」「おまかせ　少なめ」のいずれかを選択すると、マイコンがお湯の使用量を学習して沸き上げ運転を行います。

※通常は「おまかせ」モードでのご使用をお勧めしますが、お湯の量が足りないと感じる場合は、「おまかせ　多め」を。逆にお湯が余ってしまう場合には「おまかせ　少なめ」を選択することで、沸き上げ量を加減することができます。

※「おまかせ　少なめ」では、より一層の省エネが可能ですが、湯切れには注意が必要です。

■「おまかせ」、「おまかせ　多め」、「おまかせ　少なめ」の各時間帯ごとの動き



■朝（7：00～10：00）の動き
お湯の量が図の①、②、③の基準値を下回ると、お湯の沸き増しを行います。基準値はマイコンの学習により決定されます。

■昼間（10：00～17：00）の動き
お湯の量が100Lを下回ると沸き増しを行います。ただし、「おまかせ　少なめ」と2時間帯契約の場合は「朝（7：00～10：00）」と同じ動きをします。

■晩（17：00～23：00）の動き
昼間にたくさんのお湯を使用した場合は、足りない湯量を「予測沸き増し」で補充します。
予測沸き増しとは、お湯の量が各基準値（①～③）を下回らなくても、足りないと予想される湯量をあらかじめ沸き増ししておく機能です。
（予測沸き増しの詳しい説明については13ページをご参照ください。）

■深夜（23：00～7：00）の動き
ピークシフト運転により、毎朝7時までに460Lのお湯をつくります。
※1 「おまかせ　少なめ」に設定している場合は、沸上量が少なくなることがあります。（13ページ参照）

3時間帯(37ページ参照)の場合・・・料金パターンが「朝・晩」、「昼間」、「深夜」の3つの時間帯に分かれる契約

運転モード	ピークシフト時（沸上量）	沸き増し開始残湯量			
		朝 7:00～10:00	昼間 10:00～17:00	晩 17:00～23:00 予測沸き増し	深夜 23:00～ピークシフト開始まで
おまかせ　多め	460L ※1	100～150L	100L	100～150L	
おまかせ		100L			
おまかせ　少なめ		50～100L	50L	50～100L	

2時間帯(37ページ参照)の場合・・・料金パターンが「朝・晩・昼間」、「深夜」の2つの時間帯に分かれる契約

運転モード	ピークシフト時（沸上量）	沸き増し開始残湯量			
		朝 7:00～10:00	昼間 10:00～17:00	晩 17:00～23:00 予測沸き増し	深夜 23:00～ピークシフト開始まで
おまかせ　多め	460L ※1	100～150L			
おまかせ		100L			
おまかせ　少なめ		50～100L			

予測沸き増し… 予測沸き増しは、晩（17：00～23：00）の時間帯のみ行われます。
予測沸き増しが終了すると、沸き増し開始残湯量を下回るまで沸き増しは行いません。
お湯の使用量が少ない場合（学習レベルが1～5に設定されている場合）には、予測沸き増しは行いません。（学習レベルの詳細については、13ページを参照ください。）

※時間帯と電気料金は電力会社によって異なります。（24ページ参照）
（注）ピークシフト中（早朝など）にお湯を使用した場合は運転を延長することがあります。

各運転モードの詳細（つづき）

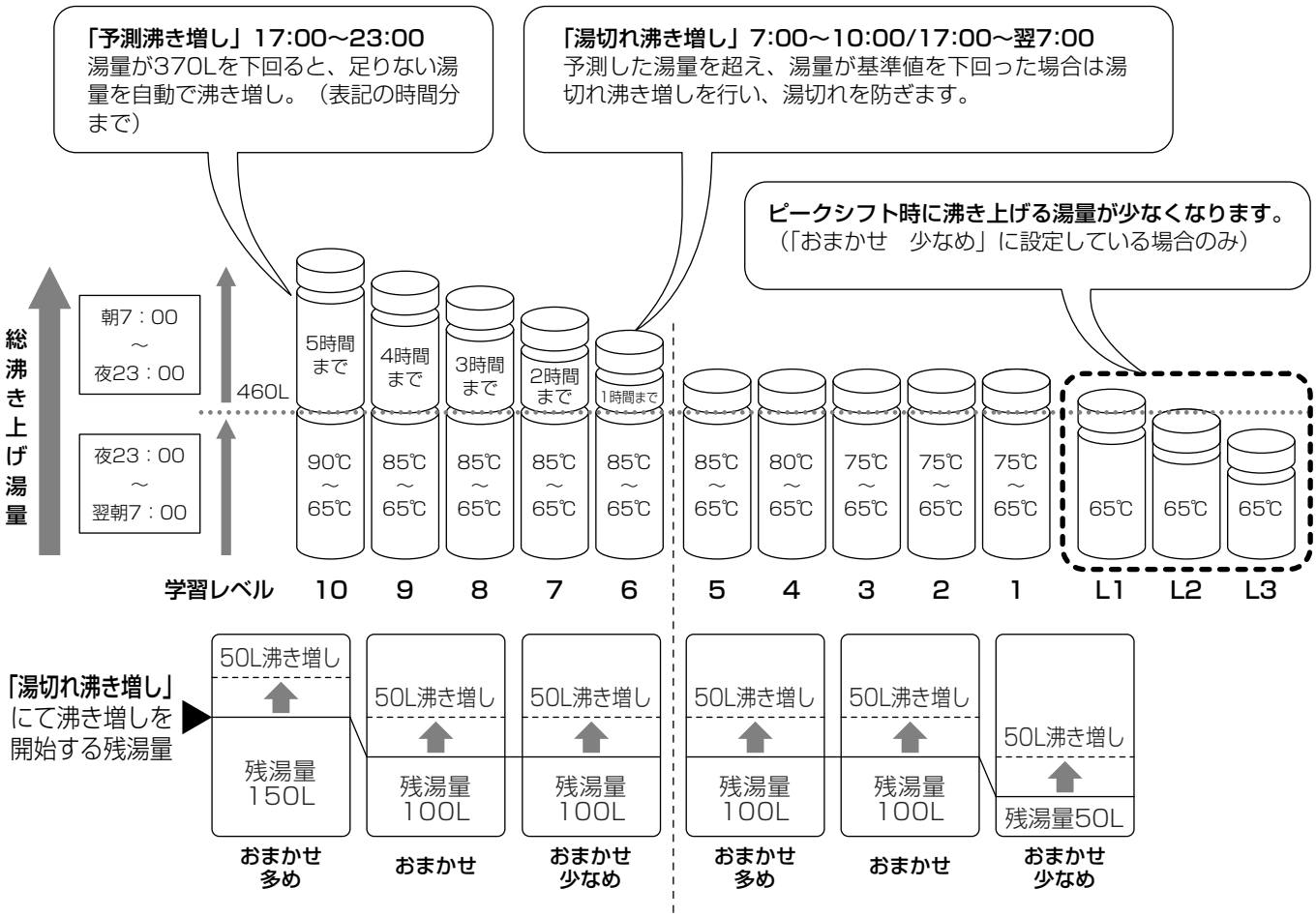
「おまかせ」運転モードの詳細

24ページの「1」の電力モード（3時間帯）の場合で説明しています。

■「おまかせ」モードに設定するとマイコンが日々使用するお湯の量を学習し、沸き上げを行うようになります。

学習レベルの詳細

使用湯量が前日より大きく上回った場合	上回った湯量に応じて学習レベルが上がります。
3日間連続で「湯切れ沸き増し」が行われなかった場合	学習レベルが下がります。



※「おまかせ 多め」の、10:00～17:00の時間帯は100Lを切れば150Lまで沸き増し。

※「おまかせ 少なめ」で、学習レベルが「L1」「L2」「L3」に設定されている場合のみ、夜間に沸き上げる湯量が、それぞれ「400L」「330L」「260L」に変化します。

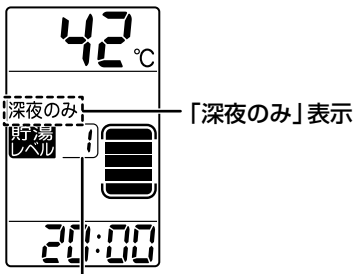
※学習レベル「1～5」では、沸き上げ温度のみが変化します。
お湯の沸き上げ温度が高いほど、より多くのお湯を使用できるようになります。

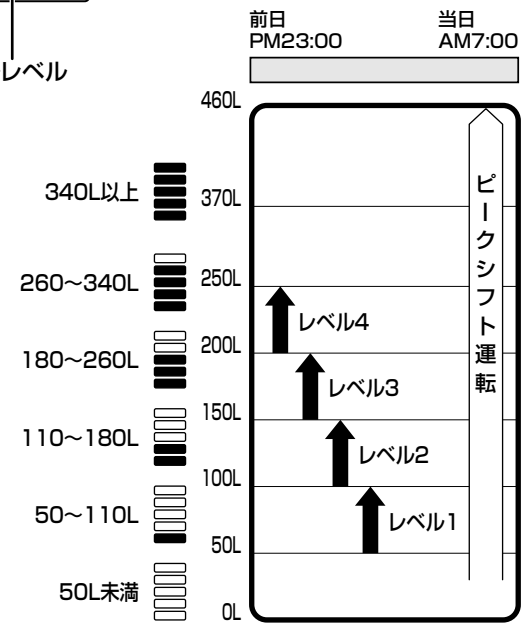
※学習レベル「6～10」では、**「予測沸き増し」**によってお湯を補充できる時間が変化します。

※各学習レベルごとの沸き上げ温度は、外気温度によっても変化します。

メモ

- リモコン上には、現在設定されている学習レベルは表示されません。
- 時間帯と電気料金は電力会社によって異なります。（24ページ参照）





「深夜のみ」運転モードについて

運転モードを押して「深夜のみ」を選択すると、深夜時間帯のみ、沸き上げ運転を行います。

また、貯湯レベルを押すことで沸き増しを開始する残湯量を設定することができます。

- 貯湯レベルを押すごとに次のように切り替わります。
  リモコンの貯湯レベル表示部を見ながら押してください。

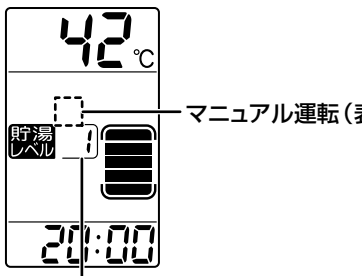
1 → 2 → 3 → 4

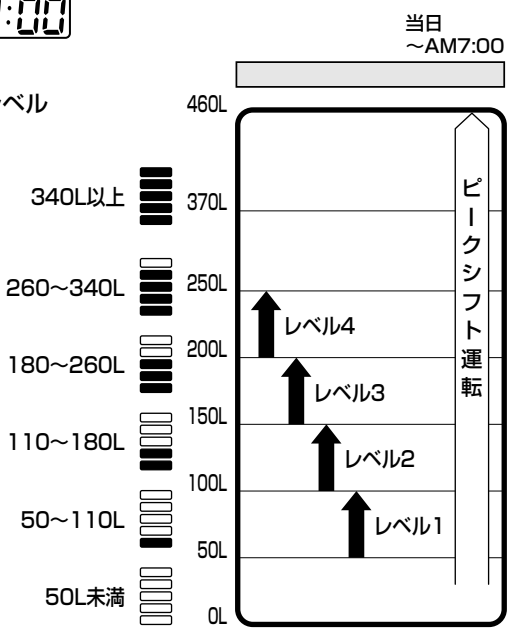
台所 *貯湯レベルを変更しました。*

設定した「貯湯レベル」に応じて、お湯をつくります。

「深夜のみ」モードの動き（貯湯レベル「1」のとき）

- 昼間時間帯（7：00～23：00）は、設定した「貯湯レベル」を下回っても、お湯の沸き増しは行いません。
- 残湯量が50Lを下回ると沸き増しを始め、100Lに達すると停止します。
- また、ピークシフト運転により毎朝7時までに、460L（満量）のお湯をつくります。





「マニュアル」運転モードについて

「深夜のみ」運転モードから、もう一度運転モードを押すと、マニュアル運転モードに切り替わります。
（液晶部には表示なし）
「マニュアル」モードに設定すると、設定した「貯湯レベル」に応じた沸き上げを行います。

- 貯湯レベルを押すごとに次のように切り替わります。
  リモコンの貯湯レベル表示部を見ながら押してください。

1 → 2 → 3 → 4

台所 *貯湯レベルを変更しました。*

設定した「貯湯レベル」に応じて、お湯をつくります。

「マニュアル」モードの動き（貯湯レベル「1」のとき）

- 残湯量が50Lを下回ると沸き増しを始め、100Lに達すると停止します。
- また、ピークシフト運転により毎朝7時までに、460L（満量）のお湯をつくります。

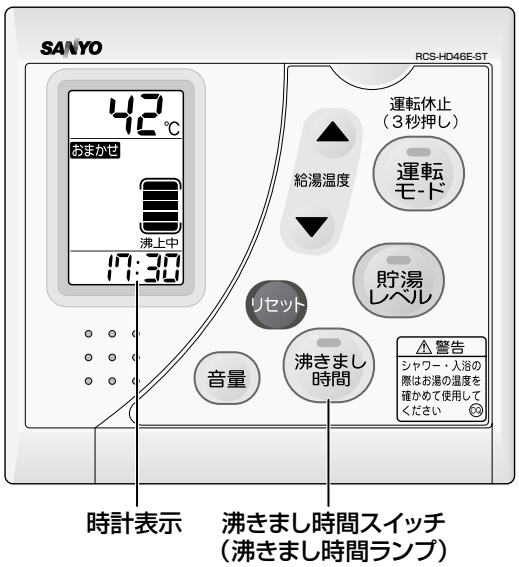
※貯湯レベル3に設定した場合、10：00～17：00の間だけは、100Lを切れば50L沸き増し。

メモ

- ピークシフト中（早朝など）にお湯を使用した場合や、気象条件等により運転を延長することがあります。ただし「深夜のみ」運転モードでは、運転の延長は行いませんので、満量沸き上げできないことがあります。
- 「深夜のみ」運転モード、「マニュアル」運転モードでは、予測沸き増しは行いません。

多量のお湯を使用したいとき

来客などにより多量のお湯が必要な場合は、沸きまし時間を押すと設定した時間の分だけ沸きましを行います。



台所リモコンから

1 沸きまし時間 を押す

- 1回押すごとに液晶の時計表示部が次のように切り替わります。

現在時刻（設定解除）→ 1H → 2H → 3H → 4H → 5H → 24H → 現在時刻（設定解除）

- 設定時間が確定すると、音声にてお知らせします。

台所 設定しました。

※ランプ点灯中は動作中です。
※各設定時間を経過すると、自動的に解除されます。

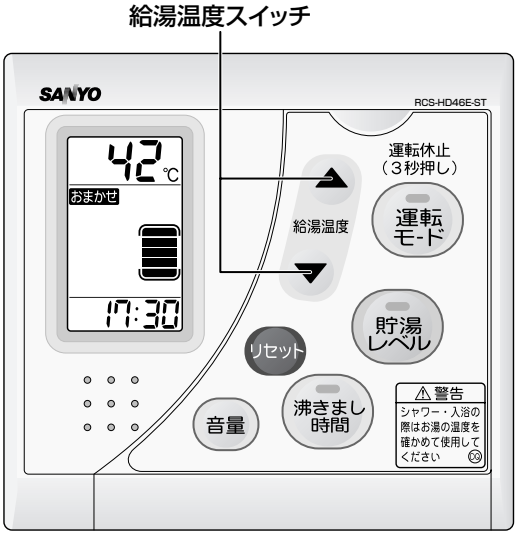
沸きまし時間スイッチの解除

沸きまし時間 を押すと解除されます。

- 沸きまし時間ランプが消灯します。

給湯温度を決める

台所リモコンで給湯温度の設定ができます。



台所リモコンで設定する場合

1 給湯温度 でお好みの温度を設定する

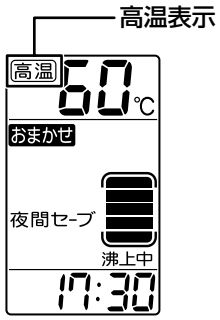
▲を押すごとにブザー音が鳴り、温度が高くなります。

▼を押すごとにブザー音が鳴り、温度が低くなります。

- 設定できる温度は36℃～48℃、60℃です。

- **60℃に設定するときは、48℃表示から2秒以上 ▲ を押します。**

  60℃に設定するとブザー音が鳴り、表示部に「高温」を表示します。



＜台所リモコン＞

台所 熱いお湯がでます。

※ 音声案内は設定によって内容がかわります。

⚠警告

- 給湯温度を変更すると、お湯の温度（シャワーなど）が変わります。
  他の人が使っていないか、じゅうぶんに注意してください。

メモ

- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を使用するお湯の温度より5℃ぐらい高く設定することをおすすめします。（水を混ぜて使用することにより、使用できる湯量が増す場合があります。）

節約のためのワンポイント

節約のためのワンポイント

シャワー後などで翌朝までにお湯をあまり使用せず、現在の残湯量でお湯が十分なときにこの操作を行ってください。
※深夜時間帯まで沸き増しを行わなくなるので、電気代を節約することができます。

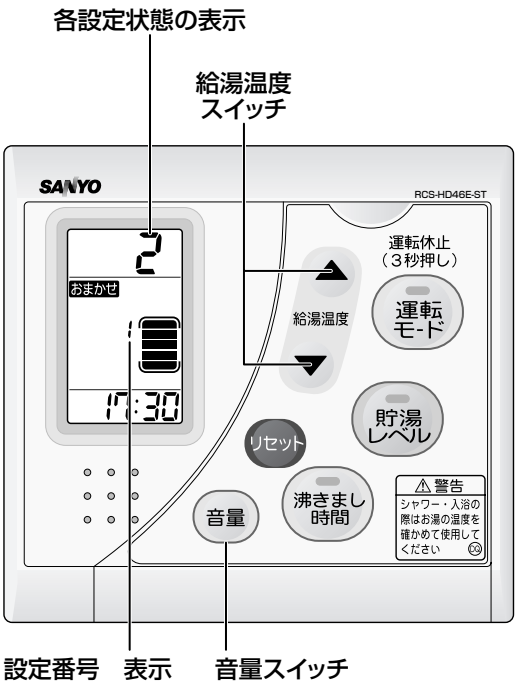
台所リモコンの 貯湯レベル を約5秒以上押す。

設定すると台所リモコンの表示部に「休止」を表示します。

お湯の沸き増しを、深夜時間帯（ピークシフト運転開始）まで停止させます。
（現在時刻が深夜時間帯の場合には、設定することはできません。）

● 解除は、貯湯レベルを5秒押しでできます。

各設定の変更（リモコンの音量、音声案内、操作音）



1 音量 を押します。

次に給湯温度スイッチの▲または▼を押すと、変更できる項目が下記の番号で表示されます。

設定番号：	1	→	2	→	3
	（音量）		（音声案内）		（操作音）

及び、音声でもご案内いたします。

音量が変更できます。

変更したい番号に合わせ 音量 を押すと設定モードに切り替わります。

（例）

音量設定：	OFF	→	1	→	2	→	3
			（小）		（中）		（大）

音量を大きくしたいときは、給湯温度スイッチの▲小さくしたいときは▼を押して希望の所に合わせてください。

音量 を押すと確定します。押さなくても約10秒で確定されます。

（音量設定）

oF ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3

（操作音設定・音声案内設定）

on ↔ oF

2 他の設定を行う場合は **1** の要領で操作を行ってください。

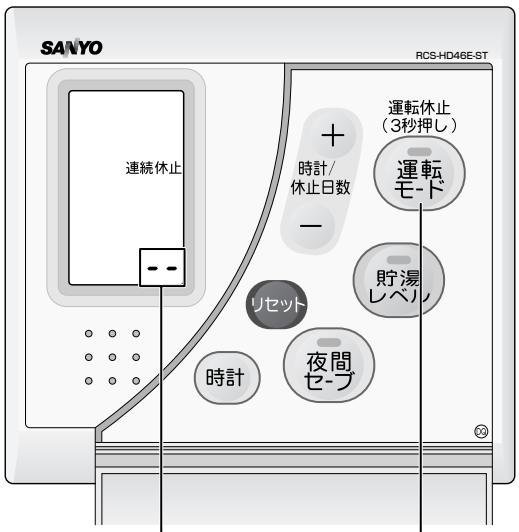
- 操作音設定：OFF→ON　2つの設定ができます。
- 音声案内設定：OFF→ON　2つの設定ができます。

メモ

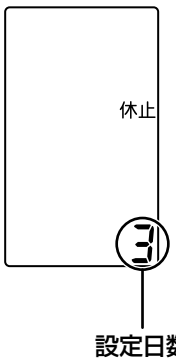
- 音量設定をOFFに設定すると、操作音、音声案内がONであっても、音が出なくなります。
- 音量設定をOFFに設定しているときは、「設定番号」を参照して変更してください。

数日間お湯を使用しないとき（運転休止）

数日間家を不在にするときなど「運転休止」を選択すると、その間沸き上げを行いません。



設定日数「3」を設定したとき



1 台所リモコンのふたを開けた状態で 運転モード を約3秒押す

「連続休止」表示と「－　－」が表示され、運転休止日数が設定できます。

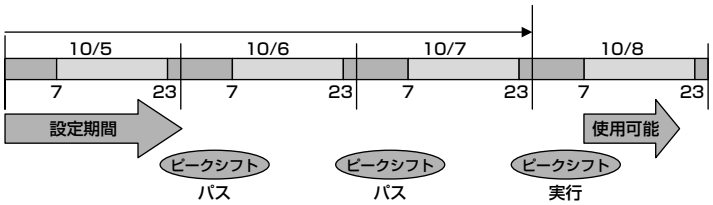
♪ 運転休止を設定しました。

2 ＋ 時計/休止日数 － を押して運転休止日数を設定する

● 設定日数は2～14日間と「－　－」で連続が選択できます。運転休止日数を経過すると自動的に復帰し運転を再開します。

♪ 変更しました。

（例）10月5日に設定し10月8日の朝以降にお湯が使える状態にするには、8－5＝3日ですので、設定日数は「3」を入れます。



※「－　－」は連続休止となり解除するまで運転を休止します。

解除するとき

3 運転モード を約3秒押す

お願い！

- 6日間以上停止した後に再使用するときは、タンクの水を入れ替えてください。（20ページ参照）
- 運転休止を解除すると、運転モードは運転休止前の状態に戻ります。
- 休止を設定していて解除後、タンク内にお湯が少ないとき、またはお急ぎのときは、沸きまし時間 を押してご使用ください。

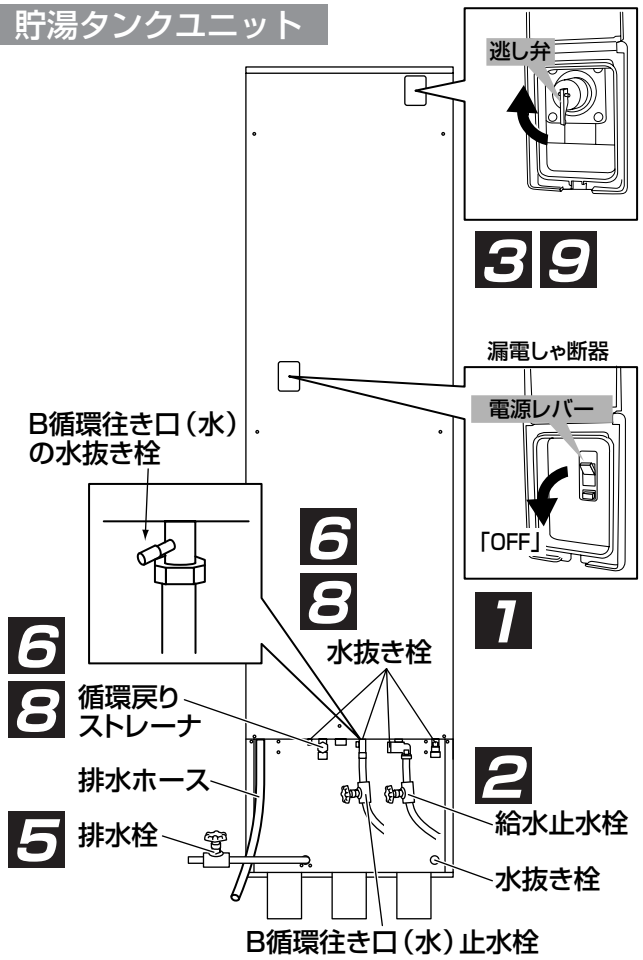
メモ

- 漏電しゃ断器の電源レバーは「OFF」にしないでください。
- 運転休止中でも凍結のおそれのある場合は、ヒートポンプユニットが自動的に運転し、凍結予防運転を行います。

長期間お湯を使用しないとき

長期間使用しないときは、運転を止め、貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニットの水を抜いてください。（水質変化や機器内の劣化、および冬期は凍結による破損を防ぐためです。）

貯湯タンクユニット



1 タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする

2 給水止水栓を閉じる

3 逃し弁のレバーを上げる

4 蛇口の湯水混合栓をお湯側にして開く

5 排水栓を開く
- 水が抜けるまでに約30～40分かかります。

6 タンクユニットの水抜き栓（5箇所）と、循環戻りストレーナをゆるめる

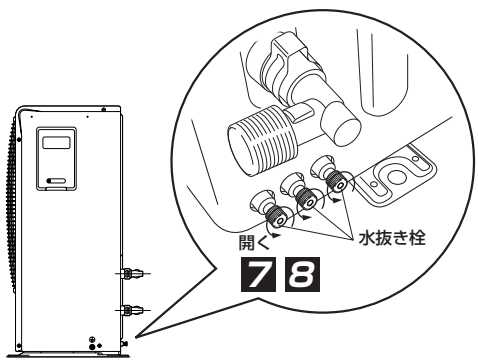
7 ヒートポンプユニットの水抜き栓（3箇所）を全てゆるめる

8 水が出なくなったら水抜き栓（5＋3箇所）と循環戻りストレーナを閉じる
- 高温水が出る場合がありますので、冷えてから行ってください。

（注）全部ゆるめると水抜き栓が抜けてしまいますので気をつけてください。

9 逃し弁のレバーを下げる

ヒートポンプユニット



再運転させるとき

① 排水栓を閉じる
② 逃し弁のレバーを上げる
③ 給水止水栓を開く
- タンクに水が貯まるまで約30～40分かかります。
- 排水ホースから水がでてきたら貯湯タンクユニットは満水です。

④ 逃し弁のレバーを下げる
⑤ B循環往き口(水)止水栓を閉じる
⑥ B循環往き口(水)の水抜き栓を開き、水と空気を1～2分出したら閉じる
⑦ B循環往き口(水)止水栓を開く
⑧ ヒートポンプユニットの水抜き栓（3箇所）を全てゆるめ、水と空気を1～2分出したら閉じる
⑨ 各接続部の水漏れがないか確認する
⑩ 蛇口の湯水混合栓をお湯側にして開き、水が出ることを確認する
⑪ 貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする
⑫ 台所リモコンで現在時刻を合わせる（10ページ）
⑬ 台所リモコンで運転モードを設定する（11ページ）

- 再運転後は、まず 沸きまし時間 を押し、沸きまし運転をすることを、おすすめします。
- 沸き上がり後、湯水混合栓を、お湯側にして開くとお湯が出ます。

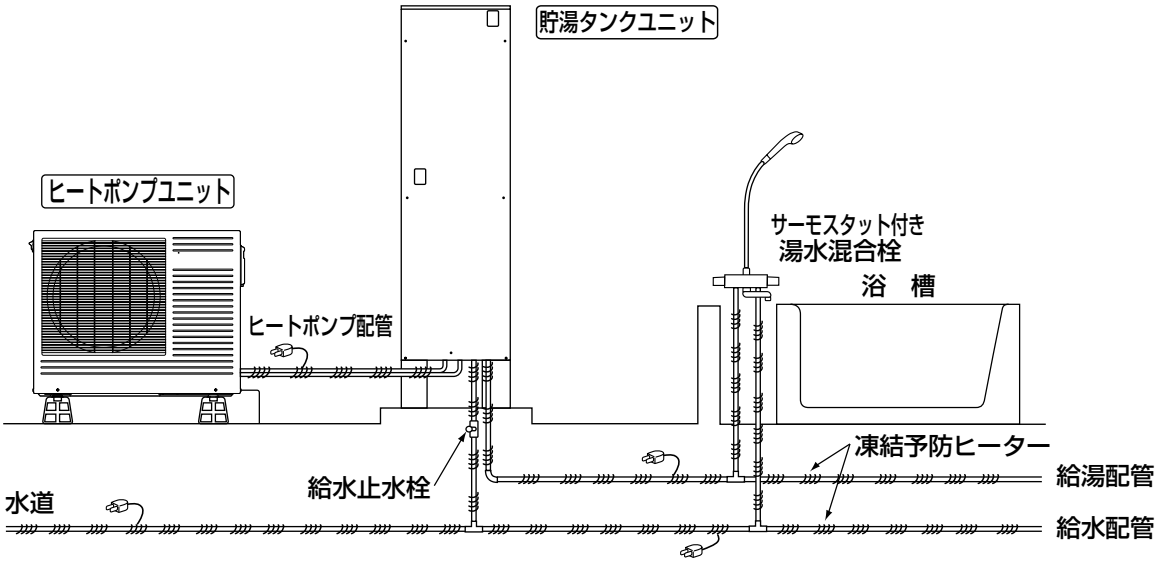
凍結予防/定期点検

凍結予防

冬期は暖かい地域でも、ヒートポンプ配管・給水・給湯配管・排水管、器具本体の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので下記方法で凍結予防をしてください。
（凍結による故障は保証期間内でも有償修理となります。）

凍結予防ヒーター （現地手配）

- 凍結予防ヒーターを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 凍結予防ヒーターを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。



凍結予防運転

本機は、外気温が下がると「凍結予防運転」をして凍結を予防します。
（ヒートポンプ配管を凍結予防します。）

- 台所リモコンに「凍結予防表示」が表示されていることを確認してください。

定期点検（有料）

3～4年に1回の定期点検のおすすめ

- 本機は、年月の経過により構成部品が劣化します。ご使用条件や運転状況により性能に影響をおよぼし、機能をじゅうぶんに発揮できなくなることがありますので、3～4年に1回の定期点検をおすすめします。
（点検費用など詳しいことは販売店にご相談ください）

定期点検の主な内容

据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認 ヒートポンプユニットの運転状態、システムの水漏れ確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認） 弁類（減圧弁、逃し弁）、貯湯循環ポンプ、ヒートポンプユニットなどの点検および消耗部品の交換

消耗・劣化しやすい部品

「減圧弁」、「逃し弁」、「貯湯循環ポンプ」

お手入れのしかた

安全に使っていただくために、点検・お手入れは定期的に行ってください。

日常の点検・お手入れ

リモコンのお手入れ

● 表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で軽く拭いてください。
（リモコン内部に水が入ると故障の原因になります。また、液晶の表示部を強く押しますと故障の原因となります。）

1ヵ月に1回程度

漏電しゃ断器の動作点検

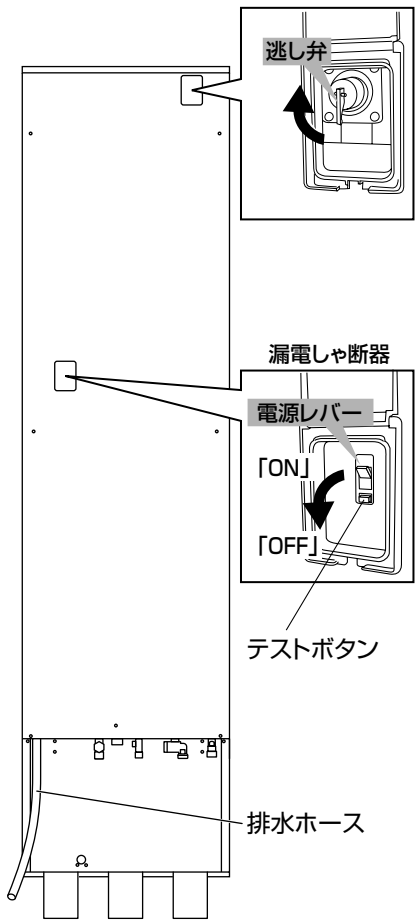
漏電しゃ断器の点検は、電源供給中に行ってください。

1. テストボタンを押す

漏電しゃ断器の電源レバーが「OFF」になれば正常です。
「OFF」にならない場合は、据付工事店に連絡してくださ い。

電源レバーがいきおいよく下がりますので注意してください。

2. 必ず電源レバーを「ON」に戻す



1ヵ月に1～2回

逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

動作点検

逃し弁のレバーを上げ、水（湯）が排水ホースから出ることを確認する。

水漏れ点検

逃し弁のレバーを元にもどし、水（湯）が排水ホースから出なくなることを確認する。
（必ずヒートポンプ運転が停止中に行ってください。）
※点検後は、必ず逃し弁のレバーが下がっていることを確認し、点検窓を閉めてください。

お手入れのしかた/知っておいていただきたいこと

6ヵ月に1回以上

タンクのお手入れ

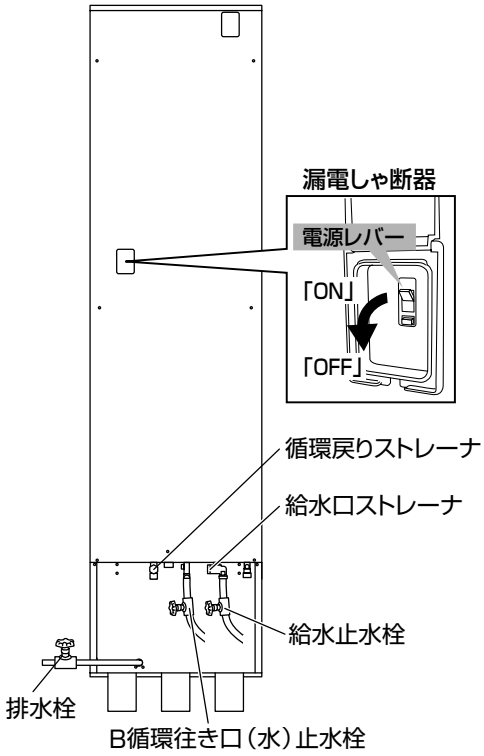
1. タンクユニットの排水栓を約1～2分間開く
   タンクの下部にたまった汚れを排水します。
   排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調節してください。
2. 汚れがなくなったら排水栓を閉じる
   汚れが多い場合は、数回繰り返します。

配管の点検

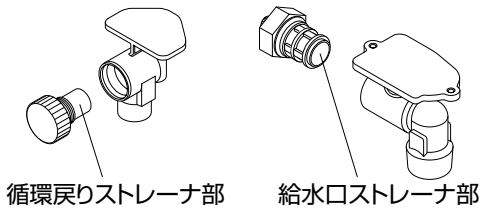
配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。
水漏れが生じている場合は、据付工事店に連絡してください。
特に冬季に入る前には、必ず保温材の点検を行ってください。
破損している場合は、凍結し本体や配管が破損することがありますので据付工事店に連絡してください。

ストレーナの点検

・「給水口ストレーナ」、「循環戻りストレーナ」の2箇所を点検してください。
①タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にします。
②ヒートポンプユニットが停止したことを確認して給水止水栓を閉じます。
③逃がし弁のレバーを約5秒間上げた後、下げます。
④B循環往き口（水）の止水栓を閉めます。
⑤スパナを使用して「給水口ストレーナ」と「循環戻りストレーナ」を取り出し、ゴミ詰まりを確認します。
※熱いお湯が出たり、ストレーナ部が熱くなっていたりしますので、やけどに注意してください。
⑥「給水口ストレーナ」と「循環戻りストレーナ」を元に戻します。
⑦B循環往き口（水）の止水栓を開け、給水止水栓を開けてください。



〈各ストレーナ部〉



1年に1回

- 機器内の水をすべて排水する（20ページ）
- 排水完了後、水の濁りがなくなるまで、給水・排水を繰り返す
- 運転する（20ページの 再運転させるとき に従ってください。）

知っておいていただきたいこと

外気温度と加熱能力の関係について

エアコンと同じように外気の熱をくみ上げるシステムのため、外気温度が低くなると沸き上げ能力が低下します。タンクユニットへの貯湯に時間がかかる場合があります。

ヒートポンプユニットの自動除霜運転について

外気温度が下がり、湿度が高いときはヒートポンプユニットの熱交換器に霜や氷が付き、そのままでは加熱能力が下がります。
そのため自動的に霜取り運転を行い、この間はタンクユニットへの貯湯は行いません。
霜取り運転終了後は、再度運転を開始します。

ヒートポンプユニットの結露水について

ヒートポンプユニットの熱交換器に結露し、この結露水がドレン口から排水されます。
湿度の高いときの運転時や自動除霜運転時は排水量が増える場合があります。

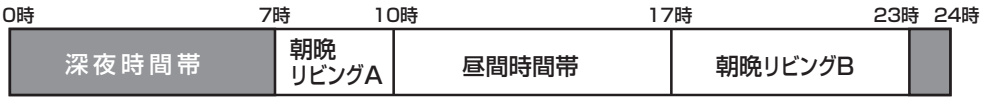
契約電力制度について

■契約電力制度「時間帯別電灯料金（TOU)」について

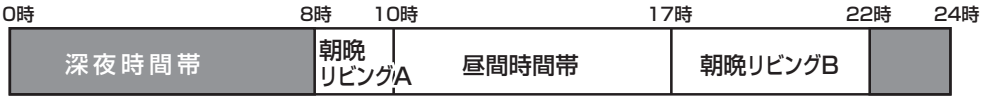
本製品は「時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯」契約システムを採用しています。
この契約システムは昼間時間帯と深夜時間帯など、時間帯に分けて電力料金を計算します。
■地域により適用となる電力料金体系が異なります。契約申請や下記にない電力料金体系等については、販売店さまあるいはもよりの電力会社へお問合せください。
■「時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯」契約をおすすめします。

■本製品は、下記のモードを設定してあります。

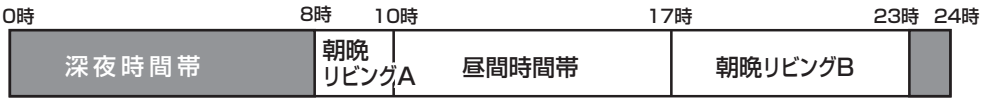
1. 関西電力「はぴeタイム」
東京電力「電化上手」
沖縄電力「Eeライフ」



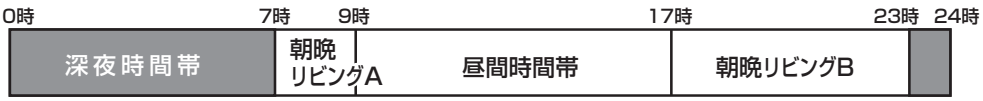
2. 北陸電力「エルフナイト10プラス」
九州電力「電化deナイト」



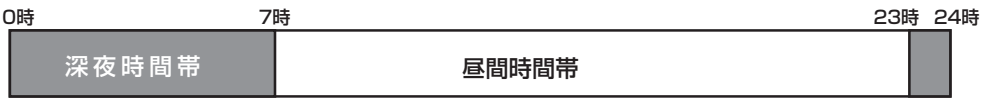
3. 中国電力「季節時間帯別ファミリータイム」



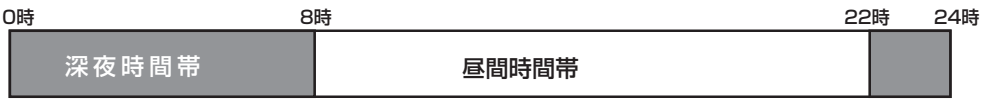
4. 中部電力「Eライフプラン」



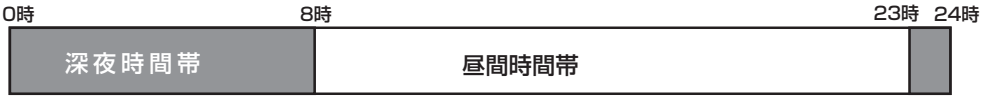
5. 東北電力「やりくり8」
東京電力「おトクなナイト8」
北陸電力「エルフナイト8」
中部電力「タイムプラン」
四国電力「電化deナイト」
関西・四国・九州・沖縄電力「時間帯別8時間」



6. 東北電力「やりくり10」
東京電力「おトクなナイト10」
北陸電力「エルフナイト10」
九州電力「よかナイト10」



7. 中国電力「エコノミーナイト」



お願い！

● すでに契約電力制度に合わせて設定されている場合は、変更しないでください。
通常、据付け時に設定しています。適用電力制度が合っていないと思わぬ電気料金がかかることがあります。

メモ

● 上記説明の1、2、3、4は「3時間帯運転」です。
● また、5、6、7は「2時間帯運転」です。

停電・断水のとき・災害時のとき

停電したとき

本機は、メモリ機能がついていますので、短時間の停電であれば、「現在時刻」は記憶しています。
ただし、リモコンの時刻表示が「 - -- 」になった場合は、使いかたの説明のページに従って再設定してください。

次の場合も、処置をしてください。

● ヒートポンプの沸き上げ
時刻表示が「 - -- 」の場合は、必ず時刻を合わせをしてください。

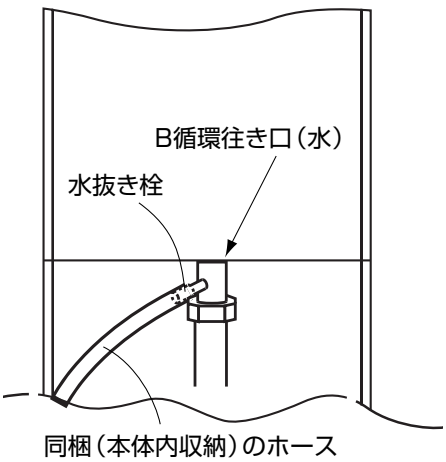
断水や近くで水道工事が行われるとき

工事が行われる前に、使用を中止してから給水止水栓を閉じてください。
工事が終了したら、水道用水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水止水栓を開いて使用を再開してください。

災害時のとき

地震などの災害時や断水時に貯湯タンク内の水を生活用水（雑用水）として利用できます。

① 貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器を「OFF」にする
② 給水止水栓を閉じる。
③ 逃し弁のレバーを上げる。
④ B循環往き口（水）の水抜き栓を開く。
⑤ 同梱（本体内収納）のホースをB循環往き口（水）の水抜き栓へ差し込む。タンクの水をバケツなどで受けてください。



〈取水が終ったら〉

● 同梱（本体内収納）のホースを取りはずし、B循環往き口（水）の水抜き栓を閉める。

〈再びご使用になるときは〉

● 20ページの 再運転させるとき に従ってください。

⚠警告

● 水抜き栓を開くときやホースからは、熱湯が出てくることがあります。やけどに注意してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

次のような状態は故障ではありません。

症　状	原　因・処　置
ヒートポンプユニットが運転／停止をくり返す	凍結予防運転をしている場合は、間欠運転をします。 （21ページ）
運転中、ヒートポンプユニットの熱交換器が白くなる	冬期運転中は熱交換器に霜が付くことがあります。 霜が多くなると自動的に霜取り運転します。
ヒートポンプユニットのファンが運転／停止をくり返す	熱交換器に付いた霜を取り除くため､自動的に霜取り運転を行っているためです。
逃し弁からお湯が出てくる	運転時は、タンクユニット内の水の温度が上昇して膨張し、その膨張分が逃し弁から排出されたものです。
お湯が白く濁ってみえる	水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくるためです。
深夜時間帯になっても、すぐ沸き上げを行わない 深夜時間帯にヒートポンプユニットが動いていない	給水温度が高い場合や残湯量が多い場合は、深夜時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。 深夜時間帯が終了する時間に合わせて沸き上げを完了させます。 （ピークシフト機能）
沸き上げ運転中にヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	運転中は熱交換器に空気中の湿度が結露し、水が出てくることがあるためです。
お湯から油が出る、お湯が臭い	はじめて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合があるためです。しばらくすると消えます。 消えない場合は販売店に相談してください。
リモコンの時刻表示が「－ －－」になる	長時間停電した場合は表示が「－ －－」になります。 時刻合わせをしてください。（10ページ）
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	●透明なガラスのコップに水を入れ、無色透明でしたら異常ではありません。 ●水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出してせっけん、湯あかが反応し、水が青く見えたり、浴槽や洗面台に付着して青く変色したりすることがありますが健康上問題はありません。 ●浴槽や洗面台はふろ用洗剤を使用して掃除してください。
リモコンから音が出ない	設定がOFFになっていませんか。 設定を変更してください。（18ページ）
シャワーが弱い	●給湯の設定温度を上げて水と混ぜると、シャワー圧が上がる場合があります。 ●「低水圧用シャワーヘッド」に交換すると、シャワーの勢いが強くなります。
給湯の出が悪い	給水圧が低い場合やストレーナがつまっている場合がありますので、販売店に相談してください。

故障かな？と思ったら（つづき）

リモコンにエラー表示された場合

■ お知らせ表示（故障ではありません）

リモコンの時計表示部にエラー表示が点滅した場合は次の処置をしてください。

表　示	原　因	処　置	エラー表示のリセット
F 23	ヒートポンプユニットとタンクユニットの循環にエアやゴミなどがある場合。	20ページの **再運転させるとき** に従ってください。	蛇口からお湯を出すと消えます。 ※それでもエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
Err	リモコンの機種違いの場合。	お買い上げの販売店へご連絡ください。	――――

■ その他の表示

表　示	原　因	処　置
H 01 〜 H 17	ヒートポンプユニット関係の表示です。	台所リモコンの リセット を押すか、蛇口からお湯を出してエラー表示を消してみてください。 ※それでもエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
F 01 〜 F 36	貯湯タンクユニット関係の表示です。	

メモ

- 発生したエラーの種類によっては、リモコンのスイッチを受け付けても、動作しない場合があります。
- 台所リモコンの リセット を押すと、エラー表示をクリアーすることができます。 リセット を押してもエラー表示が消えない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

エラー表示がない場合

症　状	原　因	処　置
リモコンの表示がでない（電源が入らない）	200V電源ブレーカーが「切（OFF)]になっている。	「切（OFF)]になっている場合は、「入（ON）」にする。
	漏電しゃ断器の電源レバーが「切（OFF)]になっている。	「切（OFF)]になっている場合は、「入（ON）」にする。 再度「切（OFF)]になる場合は、そのまま販売店へご連絡ください。
	停電している	停電が復帰するまで待つ。
お湯が出ない お湯の出が悪い	給水止水栓が閉じている	給水止水栓を開く。
	断水している／給水圧が低い	水道局または管理者へ問い合わせる。
	給水ストレーナにゴミが詰っている	販売店へご連絡ください。
	配管が凍結している	
	停電している	停電が復帰まで待つ。
お湯がぬるい お湯が足りない	給湯温度の設定が低い	給湯温度の設定を高くする。
	沸き上げ運転時以外でも、排水ホースからお湯（水）が出ている	逃し弁の点検をする。（22ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、販売店へご連絡ください。
	タンク内のお湯がない	11ページのタンク残湯表示をめやすに運転モードを切り替える。
ヒートポンプユニットの停止中に排水口から水が出ている	逃し弁の故障	逃し弁の点検をする。（21ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、販売店へご連絡ください。
お湯が設定温度にならない	蛇口からのお湯が極端に少ない場合	蛇口をもっと開く。
	給水温度が高い場合	蛇口から2～3分水を出してください。

仕　様

システム

種類	屋外式
電源および周波数	単相200V　50／60Hz共用
定格電流	7.7A
最大電流	16A
消費電力	1.471kW

貯湯タンクユニット

形式		SHP－T46E－ST
タンク容量		460L
使用圧力		190kPa（1.9kgf/cm²）
外形寸法（H×W×D）		2220×650×740mm
製品質量		88kg（満水時 548kg）
消費電力		71W（凍結予防ヒーター含む）
配管	給水・給湯接続	R3／4
	ユニット間接続 ※5	R1／2（推奨Φ10樹脂管保温付）配管長15m　6曲り以内　鳥居配管3m以内
貯湯温度		約90℃～約65℃
タンク		特殊ステンレス鋼板
配管内蔵部品		減圧弁・逃し弁
安全装置		漏電しゃ断器
付属部品		取扱説明書、工事説明書、保証書、ホース（災害時取水用）

ヒートポンプユニット

形式	SHP－C60E
使用冷媒および封入量	CO_2　0.86kg
外形寸法（H×W×D）	690×840×290mm（突起部除く）
製品質量	65kg
定格加熱能力／消費電力 ※1	6.0kW／1.40kW
夏期加熱能力／消費電力 ※2	6.0kW／1.29kW
冬期加熱能力／消費電力 ※3	6.0kW／1.65kW
冬期高温加熱能力／消費電力 ※4	6.0kW／2.00kW
定格COP	4.29
運転音 ※1	41dB（夜間セーブ運転時39dB）
設計圧力	14MPa／8MPa
圧縮機	DCロータリー2段圧縮
熱交換器（蒸発器）	強制空冷式
熱交換器（冷媒対水）	接触式
安全装置	過負荷保護装置・高圧スイッチ・温度過昇防止装置

※1 外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※2 外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※3 外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/4℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
※4 外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度85℃
※5 温水配管の場合凍結予防対策が別途必要になります。

運転制御仕様

給湯湯張り	給湯温度調節	36℃～48℃、60℃
凍結予防	給湯	水抜き
	ユニット間	自動凍結予防運転
給水圧力		200kPa～350kPa（2.0kgf/cm²～3.5kgf/cm²）以上

別売部品

リモコンコード（GBP-72-10、GBP-72-20）、脚カバー（STK-HPCD46）

アフターサービス

保証書（別紙）について

お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ大切に保管してください。

保証期間はお買い上げの日より2年間です。
ただし、熱交換器およびコンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

- 保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの「修理ご相談窓口」にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修用性能部品の保有期間について

ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、10年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される場合

- 撤去、再設置工事は必ず専門業者に依頼してください。

アフターサービス

ご相談や修理は

修理や部品に関するご相談は、お買い上げの販売店、または別刷の「お客さまご相談窓口」までご連絡ください。

●故障修理を依頼されるときは

次の事項をご連絡ください
① 故障の状況
② 形式（SHP-TC46E-ST）
③ 製造番号
④ お買い上げ年月日
⑤ おなまえ、おところ、電話番号

●お客さまメモ

アフターサービスのご連絡に便利です。

お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ販売店	電話（　　）　ー
担　当	

総合相談窓口
受付時間　9：00～18：30

家電製品についての全般的なご相談は、もよりの下記電話番号にお問い合わせください。

◆北海道地区	札　幌	☎(011)290-1522
◆東北地区	仙　台	☎(022)714-6137
◆関東地区	東　京	☎(03)3815-1111
◆中部・北陸地区	名古屋	☎(052)533-5245
◆近畿・四国地区	大　阪	☎(06)6994-9570
◆中国地区	広　島	☎(082)297-6067
◆九州・沖縄地区	福　岡	☎(092)263-7629

郵便・ＦＡＸでご相談される場合は

◆三洋電機（株）お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX（06）6994-9510

2.夜間受付時間：月曜日～金曜日　18：30～翌9：00
土曜・日曜・祝日　17：30～翌9：00

エコキュート専用ダイヤル
0120-364-910（フリーダイヤル）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

＜利用目的＞
- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

愛情点検

長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！

こんな症状はありませんか
● 設置場所がぬれている。 ● お湯が早くなくなる。 ● お湯の出が悪い。 ● 時々漏電しゃ断器がはたらく。 ● その他の異常・故障がある。

→ **使用中止**　故障や事故の防止のため必ず販売店、またはもよりの「修理ご相談窓口」に点検をご相談ください。

※1年に1回程度の定期点検をおすすめします。

三洋電機株式会社
HAカンパニー　住設システム統括ビジネスユニット
〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

この商品は海外では使用できません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

71564119405000